

# 大橋川まちづくりだより 白潟版 2008年5月

## 白潟地区のまちづくりについて 皆様のご意見を伺っております。

大橋川周辺まちづくり検討委員会作業部会では、大橋川改修をひとつの契機ととらえた大橋川周辺のまちづくり計画の検討を重ねています。

このたび、住民の皆様と協働してまちづくりを考えるためのたたき台として、道路・公園など公共施設の配置案を作成しました。

この配置案を基にまちづくりに対するご意見を伺うため、皆様のお宅を訪問させていただきました。

**白潟本町・魚町・八軒屋町の約50軒の方にご意見を頂きました。**



### 個別訪問の概要 (1月26日～3月23日)

- 目的** 地元の皆様と協働してまちづくり計画を策定するため。
- 場所** 皆様のご自宅・店舗またはスティックビル
- 時間** 20分～1時間程度
- 訪問者** 島根大学飯野先生 (大橋川周辺まちづくり検討委員会委員)  
松江市・島根県担当者

### 作業部会作成案

皆様のご意見を伺うため2つの配置案を作成しております。

#### 第1案 現在の護岸と道路を最大20m移動する案

#### 第2案 治水事業にあわせ、緑地や道路を再配置する案



凡 幹線道路 生活道路 (歩行者優先道路含む) 堤防 水上回遊コース  
例 大規模建物 緑地 親水護岸

**2つの案のどちらかを選ぶわけではありません。  
皆様のご意見をもとに、修正・見直しを重ね、計画づくりを進めます。**

# 多くのご意見をいただきました。

## 大橋川改修に関する不安・懸念

- 多くの世帯が立退きになり地域が壊れてしまうのでは。
- 工事期間中の客離れにより白濁が衰退する。また、大橋川周辺の観光客も減少する。
- 改修時期、工事期間がはっきりわからないので生活設計ができない。
- 今の常連客が移転先にも来てもらえるか不安。

## 将来のまちのイメージ

- お店が増えて賑わいのまち。商業の続けられるまち。
- 水辺を身近に感じられるまち・水辺を活かしたまちをつかってほしい。
- 大きく変えずに松江らしさを未来の世代に引き継いでほしい。
- 歴史、文化のある松江を代表する場所として現状のまま保存してほしい。
- 日常用品店やスーパーが立地した生活に便利なまち。
- 住宅地として高齢者が住みやすいまち。子供が安全に遊べるまち。
- 歴史のある蔵や井戸、裏路地を活かしたまち。
- 松江大橋南詰の公園周辺や岸边に商店を立地させ、宍道湖～松江大橋まで水辺の散策路をつくり、賑わいのあるまちをつかってほしい。

## まちづくりの進め方について

- 改修工事ありきのまちづくりではなく、改修とまちづくりとは別々に考えるべき。
- 大橋川改修は地域再生の千載一遇のチャンス。
- 他のまちの模倣ではだめ。全国画一のまちにならないように注意してほしい。
- 若い人達为中心となってまちづくりを考えてほしい。

## 松江大橋について

- 今の風情（和の趣、御影石、唐金擬宝珠等）を残してほしい。
- 外観を変えず、現状のまま残してほしい。
- 架け替える橋に今の橋の御影石を再利用してほしい。無理ならば、街中の道路の路面に活用してほしい。

## その他の意見

- 八軒屋町の名前はなくなってしまうのか。
- 合銀と協力して住みやすいまちにしてほしい。
- 七草がゆや正月の雑煮などの歴史的伝統的な文化芸能を子供たちに残したい。
- 今までの行政の情報提供では本当に知りたいことがわからなかった。個別訪問でいろいろな事がわかって良かった。



今後、皆様がまちづくりについての意見交換や興味のあるテーマについて勉強のできる場を設けたいと考えております。